



発展を続けてきた 前橋市の歩み

固政策推進課
☎027-898-6003



今年、本市は市制施行 130 周年を迎えました。明治 25 年 4 月に誕生し、当時約 3 万 2,000 人だった人口は、現在では約 10 倍の約 33 万 2,000 人となり、

群馬県の県都として発展を続けてきました。これまでの本市の歴史を写真で振り返り、これからの未来へ向けて新たな歩みを進めていきます。

① 明治中期
明治時代の市役所。市制施行当初は旧町役場を使用していました。

② 大正2年
日本赤十字社群馬支部病院（現在の前橋赤十字病院（朝倉町））が朝日町に開院しました。

③ 昭和20年
第二次世界大戦で空襲を受けた本市の様子。中央は前橋カトリック教会。

明治25年
市制施行

市制施行当時	現在（9月末日現在）
面積 7.71km ²	面積 311.59km ²
世帯 5,653 世帯	世帯 153,340 世帯
人口 3万 1,967 人	人口 33万 1,972 人

大正元年

昭和元年

④ 昭和26年
七夕まつりは昭和26年に始まり、開催回数は今年で72回となりました。（写真は昭和34年当時のもの）



⑧ 昭和58年
あかぎ国体が群馬県で開催され、開・閉会式が本市で実施されました。



⑨ 昭和61年
両毛線のJR前橋駅が高架化されました。



⑩ 平成2年
グリーンドーム前橋のこけら落としとして、世界選手権自転車競技大会を開催しました。

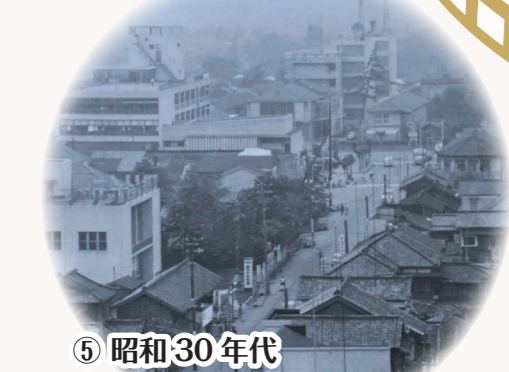


⑥ 昭和30年代
天川大島町松並木の様子。現在は区画整理により、景色が変化し続けています。



⑦ 昭和40年代
上毛電気鉄道の起点である中央前橋駅。

平成元年



⑤ 昭和30年代
県庁前通り。左上が当時の市役所庁舎です。

⑭ 令和4年
官民連携により前橋赤十字病院跡地（朝日町）がコロンシティまえばしに生まれ変わりました。



⑪ 平成20年
赤城山夏まつり灯籠流しの様子。今年は赤城山らんたん祭りとして開催しました。



⑮ 令和5年
来年3月開業予定の「道の駅まえばし赤城」。



⑬ 令和元年11月～令和3年
東京2020オリンピックの事前合宿のため、南スーダン選手が1年9カ月の間、本市で長期事前キャンプを実施しました。

令和元年

⑫ 平成23年
この年から開催している、まえばし赤城山ヒルクライム大会の様子。今年は3年ぶりに開催しました。



記念ピンバッジを販売中

市制施行 130 周年記念ピンバッジを販売中です。

¥ 200 円

場市役所地下売店、
ヴェントまえばし
(表町二丁目)